記入例２

知的障害　５歳児　女の子

個別の（教育）支援計画

令和　○　年度　　　　　　　園名　　〇△□幼稚園

氏名　　船橋　　花子

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 担任　印 | 前期 | 後期 | 年度末 |
| 管理者（園長等）　印 | 前期 | 後期 | 年度末 |
| 保護者　印 | 前期 | 後期 | 年度末 |

個別の（教育）支援計画に記載された内容を下記関係の機関との連携（情報共有、引き継ぎ等）に使用することを承諾します。

　　　　令和○　年　○　月　○　日　　　　　　　　　　保護者氏名　　　　　　　　　　　　　　　印

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| １ | 船橋市立〇〇小学校 | ６ |  |
| ２ | 〇〇児童発達支援事業所 | ７ |  |
| ３ |  | ８ |  |
| ４ |  | ９ |  |
| ５ |  | 10 |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | ふなばし　はなこ | | | | | 性  別 | 女 | | | 生年月日 | | 平成○○年○月○日 | | |
| 船橋　花子 | | | | |
| 園名 | ○△□幼稚園 | | | | | | | | | 保護者氏名 | | 船橋　花男 | | |
| 家族構成 | 名　前 | | | | | | 続　柄 | | | | 名　前 | | | 続　柄 |
| 船橋　花男 | | | | | | 父 | | | | 南船橋　○○ | | | 祖母 |
| 船橋　△△ | | | | | | 母 | | | |  | | |  |
| 船橋　花子 | | | | | | 本人 | | | |  | | |  |
| 船橋　▲▲ | | | | | | 妹 | | | |  | | |  |
| 年齢（年度） | | | | 組 | | | | | 作成者 | | | | 作成日 | |
| ３歳（平成○年度） | | | | あお組 | | | | | ○○　○○ | | | | Ｒ○年○月○日 | |
| ４歳（令和△年度） | | | | あか組 | | | | | △△　△△ | | | | Ｒ△年△月△日 | |
| ５歳（令和□年度） | | | | みどり組 | | | | | □□　□□ | | | | Ｒ□年□月□日 | |
| 歳（　　　 年度） | | | |  | | | | |  | | | |  | |
| 幼  児  に  つ  い  て | 幼児の状況 | 生活面・認知面 | | | ・興味がある所（物、人）へ衝動的に行ってしまうことがある。(3歳)  ・指示は言葉だけでなく、具体物を提示することで理解しやすくなる。 　　　(4歳）  ・基本的に自食だが、食べこぼしや手づかみが見られる。(5歳) | | | | | | | | | |
| 行動面・運動面  （身体・健康等） | | | ・健康である。(3歳)  ・本を見る際に顔を近づけることがあり、見えにくさをもっているよう  である。(4歳）  ・体幹が弱く、姿勢・バランスの保持に苦手さが見られる。(5歳) | | | | | | | | | |
| その他  （言語面・対人面等） | | | ・発語は少ないが、日常生活でよく聞く言葉は理解している。(3歳)  (着替え、ごはん、トイレなど)  ・簡単な単語や身振りで意思や要求を伝えようとする。(5歳) | | | | | | | | | |
| 好きなこと  得意なこと | | | ・お絵描き、塗り絵、パズル(3歳)  ・戦隊ごっこ、ブロック遊び(5歳) | | | | | | | | | |
| 発達検査、診断名、慢性的な疾病等に関する特記事項　等 | | | | | ・療育手帳　Bの２（令和○年６月交付）  ・新版Ｋ式発達検査（年中の７月に船橋市こども発達相談センターで実施）　総合発達指数　ＤＱ６３  ・てんかんの発作があり服薬している。（○年○月以来発作はない。） | | | | | | | | |
| 現在の関係機関名　等 | | | | | | | | | | | | | | |
| 関係機関名 | | | 担当者・連絡先 | | | | | 支援（相談）の内容 | | | | | その他、引継事項　等 | |
| ○○病院 | | | 担当　○○医師  ＴＥＬ　123－456－789 | | | | | てんかん発作の相談  発達についての相談 | | | | | 非常時に備え薬を預かる。 | |
| 船橋市こども発達相談センター | | | 担当　○○さん  ＴＥＬ　987－654－321 | | | | | 言葉の遅れ等、発達全般での相談 | | | | | 月１回程度 | |
| ○○児童発達支援事業所 | | | 担当　○○様  ＴＥＬ　227－300－321 | | | | | 個別の学習 | | | | | 週1回程度 | |

個別の（教育）支援計画【幼稚園・保育園・こども園・保育所・児童発達支援事業所　等】

（様式１－１）

個別の（教育）支援計画【幼稚園・保育園・こども園・保育所・児童発達支援事業所　等】

氏名 船橋　花子

（様式１－２）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 将来に  ついて  の願い | 本　人 | | 一人でできることを増やしたい。 |
| 保護者 | | できるだけ自立した生活を送ってほしい。 |
| 長期目標  （卒園まで） | | 自分から活動に取り組んでほしい。 | |
| 一人でできることを増やしてほしい。 | |
| できるだけ周りの人とコミュニケーションをとってほしい。 | |
| 年　齢　別　目　標 | 3歳 | 新しい活動に保育者と一緒に参加してほしい。 | |
| できるだけ一人で衣服の着脱をしてほしい。 | |
| 名前を呼ばれたら返事をしてほしい。 | |
| 4歳 | できるだけ一人で活動に参加してほしい。 | |
| 一人で排泄してほしい。 | |
| 自分からあいさつをしてほしい。 | |
| 5歳 | 自分から活動に取り組んでほしい。 | |
| 自分でスプーンやフォークを使って食事をしてほしい。 | |
| 要求を言葉やジェスチャー等で伝えてほしい。 | |
| 歳 |  | |
|  | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | | | ふなばし　はなこ  （様式２） | | 性別 | | 女 | 作成日 | 令和２年５月１２日 | |
| 船橋　花子 | |
| 園名 | | | ○△□幼稚園 | | 年齢 | | ６才 | 担任名 | ○○　○○ | |
| 今年度の目標 | | | 自分から活動に取り組んでほしい。 | | | | | | | |
| 自分でスプーンやフォークを使って食事をしてほしい。 | | | | | | | |
| 要求を言葉やジェスチャー等で伝えてほしい。 | | | | | | | |
| 前　期 | 項目 | | 目標 | | | 手立て | | | | 評価 |
| 生活面・認知面等 | | 自分でスプーンを使って食  事をしてほしい。 | | | ・保護者に大きめのスプーンと小さめのスプーンを用意してもらい、食べるものによって使いわけをする。  ・適宜、左手でお弁当箱等をおさえるように声をかける。 | | | | ・時折手づかみになることもあるが、スプーンを使って食べることができている。 |
| 行動面・運動面等 | | 自分から遊具で時間いっぱ  い遊んでほしい。 | | | ・「どれで遊ぶ？」などと声をかけ、好きな遊具をめぐって遊べるようにする。  ・一緒に遊びながら遊び方を伝える。 | | | | ・自分から友達を誘って、トランポリン等で遊ぶ様子も見られるようになった。 |
| その他 | | 要求を担任等に言葉やジェ  スチャーで伝えてほしい。 | | | ・状況に応じて適切な言葉を伝える。  ・花子さんの気持ちをくみとり「○○かな？」「それとも△△かな？」などと聞き、選択肢の中から選べるようにする。  ・言葉を発声しづらい時には、ジェスチャーを伝え、一緒に行う。 | | | | ・担任とやりとりをしながらではあるが、自分の要求を言葉やジェスチャーで伝えられるようになってきている。 |
| 後　期 | 生活面・認知面等 | | できるだけ食べこぼしがないように食事をしてほしい。 | | | ・献立によっては、一口大に切っておく。  ・一人でこぼさずに食べられた時には「きれいに食べたね」などと賞賛す  る。 | | | | ・スプーンやフォークの使い分けはまだ難しいが、こぼさずに食べられるようになってきている。 |
| 行動面・運動面等 | | 要求を自分から伝えてほし  い。 | | | ・要求を伝えづらい時には、見守りながら待つようにする。  ・自分から伝えられた時には「すごいね」などと行動を認める。 | | | | ・「○○ください」など要求を言葉で伝えることが増えてきている。 |
| その他 | | 遊びのルールや順番を守っ  て活動してほしい。 | | | ・事前に担任が手本を示すなどしてルールをわかりやすく説明する。  ・慣れるまでは一緒に行い、少しずつ支援を減らしていく。 | | | | ・後半になると集中力が途切れることがあるが、ルールを守って参加できている。 |
| まとめ | | 今年度の目標に対する評価 | | ・年長になり園の生活にも慣れ、行事等で日課が変わる時でも落ち着いて活動に参加することができ、大きな成長を感じる。慣れた人には、言葉で要求を伝える場面も増えてきている。 | | | | | | |
| 次年度への  引継事項  及び課題 | | ・学校生活に慣れるまで、緊張して活動に取り組みづらいことが予想される。慣れるまで一緒に行ったり、視覚的な支援があったりするとわかりやすいと思います。慣れてくると一人で好きな場所に行くことがあるので見守りが必要です。 | | | | | | |

個別の指導計画【幼稚園・保育園・こども園・保育所・児童発達支援事業所　等　等】